

令和7年度

医学部医学科学士編入学
学 生 募 集 要 項

(2年次編入学)

令和6年5月



令和7年度 福井大学医学部医学科学士編入学入試日程の概要

出 願 期 間 令和6年7月8日(月)～7月12日(金)
第 1 次 選 考 令和6年8月31日(土)
第1次選考合格者発表 令和6年9月20日(金)
第2次選考(書類選考)合格者発表 令和6年10月4日(金)
最 終 選 考 令和6年11月2日(土)
最終選考合格者発表 令和6年11月22日(金)
入 学 手 続 期 間 令和6年11月25日(月)～11月29日(金)

目 次

I. 受験案内

1 医学部の理念	1
2 医学部の教育目的	1
3 医学部アドミッション・ポリシー	2
4 募集人員	5
5 出願資格	5
6 編入学の時期及び編入学年次	5
7 出願手続	5
8 入学者選抜方法等	9
9 障がいのある入学志願者等の事前相談	11
10 合格者発表	11
11 入学手続	12
12 欠員補充の方法	12
13 入学試験の個人成績の開示	12
14 個人情報の利用	13

II. 入学案内

1 教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)	14
2 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	15
3 共用試験(CBT・OSCE・Post-CC OSCE)	19
4 取得可能資格等	19
5 初期臨床研修	19
6 入学料及び授業料徴収猶予	19
7 奨学金制度	19
8 保険制度	20
9 アパート等の紹介	20

〈注意〉

- 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- この学生募集要項以外に重要な通知がある場合や、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。[福井大学ホームページ<https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

I. 受験案内

1. 医学部の理念

愛と医術で人と社会を健やかに

真理を探究する知への愛—

それは、古代ギリシャの哲学者プラトンや医学の父ヒポクラテスが最も信頼を寄せた愛、すなわち、自分自身の「無知」を自覚し、つねに真理の側へと身を置き、それを不断に求め続けることを自らに課す、極めて厳しい愛です。私たちは、最新の医学・看護学知識や技術を学び、修練すると共に、次世代の医学・看護学を開拓する研究を推進します。

人命を尊重し人間に共感する人への愛—

それは、病に臥していようが無かるうが、日々の生活を営む人々のために自らの知識と知恵を捧げようと志す、徹底した無我の愛です。私たちはその具体的な姿を、福井藩蘭方医、笠原良策（白翁）（1809-1880）に見出します。笠原は、幕末まで死病として恐れられた天然痘の流行を食い止めるため、既存の医学や因習に囚われることなく、常に最先端の医学を探求し続けた「知への愛」の実践者であると同時に、自らの命を賭して種痘の普及と実施に尽力し、人と社会の健康に一生を捧げた人物に他なりません。私たちは、旧福井医科大学学歌に謳われた“杏林愛に芳しき”医療従事者や研究者を育成、輩出し、人と社会を健やかにする事に貢献します。

2. 医学部の教育目的

福井大学医学部は、理念に基づき、人間形成を基盤に生命尊重を第一義とする医の心の態度を体得するとともに、世界水準の医学および看護学の知識と技能を修得し、地域社会や国際社会で活躍できる医療人および研究者を育成する。

○医学科

確かな知識と技能に基づく質の高い臨床能力と、生命尊重を第一義とする共感力と倫理観を有し、根拠に立脚した患者中心の医療を実践できる医師や、医学の進展に貢献する高い能力を身につけた医学研究者を育成し、医学・医療の進歩を通じて社会に貢献することを目的とする。

○看護学科

高い倫理観と良識ある人間性を有し、科学的根拠に基づいた看護を実践でき、知識・技能を生涯にわたり修得し続ける高度専門職業人を育成し、看護学の発展と地域社会に貢献することを目的とする。

3. 医学部アドミッション・ポリシー

(1) 医学部で養成する人物像

医学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 高い倫理観・責任感，優れた共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を実践できる臨床医を育成する。 ② 医学および関連領域の知識と技能を応用して，医療における高度専門職業人として活躍できる医師・医学研究者を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに，グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる臨床医を育成する。
看護学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 高い倫理観・責任感，良識ある人間性とコミュニケーション力を備えた対象者中心の看護を実践できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ② 看護学及び関連領域の知識と技能を応用し，高度専門職業人として活躍できる看護師・保健師・助産師を育成する。 ③ 地域のニーズを踏まえた看護を実践できるとともに，グローバルな視点に立ち「ふくい」の地域医療に貢献できる看護師・保健師・助産師を育成する。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

医学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 医師となるにふさわしい豊かな人間性，周囲との協調性，コミュニケーション力，責任感を有する人 ② 奉仕の精神を持ち，人を思いやり，尊重することのできる人 ③ 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み，自ら学び続ける学修意欲のある人 ④ 医学・医療を通じて地域社会や国際社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持つ人 ⑤ 地域を愛し，医師として地域医療に貢献することを望む人 ⑥ 医学・生命科学に強い関心を持ち医学研究者になることを望む人
看護学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 看護に関心を持ち，将来看護職として，地域医療に貢献したいと考える人 ② 倫理的感性を有し，人間の尊厳と権利を尊重することができる人 ③ グローバル化が進展する社会に関心をもつことができる人 ④ 基礎学力の上にならって，人と地域社会に関心をもって学習に臨める人 ⑤ 協調性がありコミュニケーション能力のある人 ⑥ 誠実な心を持ち，主体的で意欲のある人

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

医学科では，高等学校段階までの数学や理科，英語をしっかりと学び，加えて国語，地歴公民，情報を含む6教科を総合的に学び，基礎学力が十分身につけていることが必要です。6教科を広く学ぶことで医学を学び生かす基礎学力と応用能力を養い，その中で人間性や協調性，責任感を身につけることを期待します。(医：学生像①-⑤)

医学科学士編入では，理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連，英語等），応用能力，学修意欲が十分身につけていることが必要です。その中で医学における人間性や協調性，責任感共感力やコミュニケーション力，学士としての経験や意欲が醸成されていることを期待します。(医：学生像⑥)

(3) 入学者選抜の基本方針

医 学 科	<p>様々な資質・背景を持つ多様な人に広く門戸を開くため、次のような選抜方法を行っています。全ての試験に面接試験を課し、医師としての資質・適性・将来性を判断することにより、「求める学生像」に相応しい人の選抜に努めています。</p> <p>①一般選抜（前期日程） 高等学校卒業生及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え、個別学力検査を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。</p> <p>②一般選抜（後期日程） 高等学校卒業生及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入学共通テスト、小論文、面接の成績及び調査書の内容を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストに加え、小論文を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。</p> <p>③学校推薦型選抜Ⅱ：全国枠 学習成績や人格に優れた者として高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績で医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査によって「求める学生像」に相応しい人を選抜します。</p> <p>④学校推薦型選抜Ⅱ：地元出身者枠 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する福井県内の高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者等に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。</p> <p>⑤学校推薦型選抜Ⅱ：地域枠（福井健康推進枠） 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、大学入学共通テスト、面接の成績及び提出書類（推薦書、志願理由書、調査書）を審査し、総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストの成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。</p> <p>⑥学士編入学 大学卒業生及びそれに準ずる学力を持った者に対し、個別学力検査、書類審査及び面接の成績を総合的に評価して選抜します。個別学力検査では理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）を評価します。面接では学士としての見識と経験、医学を学ぶ目的と強い意欲を判断します。合格者は2年次前期（4月）に編入します。</p>
-------------	---

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の 3 要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

【医学科】

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と協 働して学ぶ態度
一般選抜 (前期)	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
一般選抜 (後期)	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書	○		○
学校推薦型 選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書			○
	志願理由書		○	○
	調査書	○		○
学士編入学	個別学力検査 （自然科学総合）	○	○	
	志望理由書		○	○
	成績証明書	○		
	面接	○	○	○

○は重視するもの

4 募集人員

5名

5 出願資格

出願できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修業年限4年以上の大学を卒業した者又は令和7年3月31日までに卒業見込みの者（ただし、医学部医学科を卒業した者又は在籍中の者は除く）
- (2) 大学を卒業せず、大学院の修士課程又は博士課程を修了した者、又は令和7年3月31日までに修了見込みの者（ただし、医学部医学科在籍中の者は除く）
- (3) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（学校教育法第104条第4項）
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者

6 編入学の時期及び編入学年次

令和7年4月に2年次に編入学します。

7 出願手続

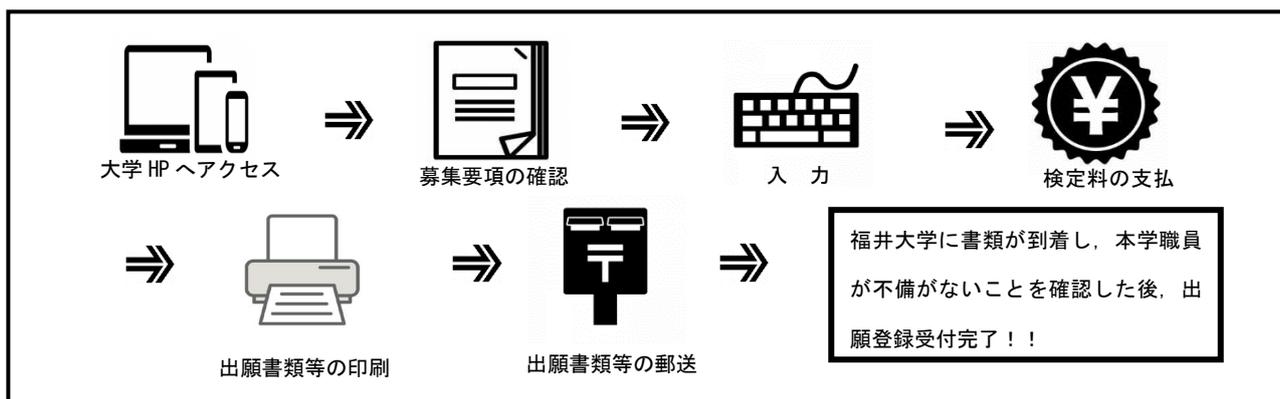
(1) 出願期間

令和6年7月8日(月)～7月12日(金)最終日16時必着

- ① 出願書類等は市販の角型2号封筒(240mm×332mm)に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ郵送(簡易書留速達)するものとし、7月12日(金)16時必着とします。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち、7月10日(水)までの発信局日付印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。
- ② 郵便局で交付される簡易書留郵便受領証等は、大切に保管してください。

(2) 出願方法

○インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記 ①～④のすべての手続きが必要です。

①インターネットによる出願情報の入力

出願情報入力可能期間：令和6年7月1日（月）9：00～7月12日（金）16：00

②検定料の支払い

検定料 30,000円

検定料の詳細は、8ページの「(4) 検定料の支払方法」を参照してください。また、入試成績開示を希望する場合は、開示請求手数料1,000円が別途必要です。

③出願書類等の印刷

④出願書類等の郵送

インターネット出願サイトへは、福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) からアクセスできます。

出願書類を郵送する際は、市販の角型2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、「簡易書留速達」で郵送してください。

提出先 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

(注) インターネット出願は、インターネットでの情報入力及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、以下の「(3) 出願書類等」に記載している提出書類の郵送（出願期間内に必着）を済ませ、内容に不備がなかった場合完了となります。

(3) 出願書類等

①インターネット出願サイトから印刷するもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
出願確認票（提出用）	インターネット出願情報入力後，申込確認ページより A4サイズでカラー印刷 し，提出してください。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 出願確認票は，検定料の支払い及び証明写真のアップロードが完了していないと印刷できません。
出願封筒用宛て名ラベル	インターネット出願情報入力後，申込確認ページより A4サイズでカラー印刷 したものを郵送用の封筒に貼り付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 注）印字されている内容に誤りがないか確認してください。 また，出願後受信場所が変更となった場合は，速やかに連絡してください。 封筒は，市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を使用し，簡易書留速達で郵送してください。

②インターネット出願サイトでアップロード作業が必要なもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
証明写真データ	インターネット出願情報入力及び検定料支払い後，登録完了メールに記載されている URL から，志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 注）志願者本人と判別できるもので，カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景・直近3か月以内に撮影した 100KB～5MB の jpg 又は png 形式のデータを使用してください。

③その他必要な提出書類（*は本学所定の様式 本学ホームページから印刷し作成すること）

提 出 書 類 等	摘 要
* 履 歴 書	履歴書の記入上の注意を参照のうえ，必ず 自書 してください。 ※ A4サイズで両面印刷 すること。
* 志 望 理 由 書	志望理由書の注1.に記載の各事項について和文で記述することとし，総字数は合わせて1,200字程度とします。
卒 業（見 込） 証 明 書	出身大学等の卒業（見込）証明書又は学士の学位授与証明書を提出してください。
成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。必ず 発行元が厳封したもの を同封してください。
* 出 願 書 類 チェック リ ス ト	確認済の出願書類に <input checked="" type="checkbox"/> を入れ，出願書類と一緒に提出してください。

注：① 全ての出願書類が出願期間内に提出されない場合は，出願を受け付けませんので，十分注意してください。

② 改姓により成績証明書等の氏名が異なっている場合は，戸籍抄本を添付してください。

③ 大学を卒業せず，大学院を修了（見込）の場合のみ，大学の成績証明書と併せて大学院の成績証明書及び修了（見込）証明書も提出してください。

④ 大学を卒業後，大学院を修了（見込）の場合，大学院の成績証明書及び修了（見込）証明

書は不要です。

- ⑤ 出身大学に編入学した者については、編入学前の大学等の成績証明書も必要です。
- ⑥ 証明関係書類は、原本を提出してください。(証明関係書類の取得には時間を要する場合がありますので、出願期間に注意してください。) また、成績証明書は、発行元の大学等が厳封したものに限り、開封されているものは受理できません。
- ⑦ 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類の返還並びに入学志願票の記載事項の変更は認められません。
- ⑧ 期限までに出願書類等が全て提出された場合でも、提出された出願書類等の内容等に不備がある場合には、出願を受理できないことがあるので十分注意してください。
- ⑨ 出願書類等の記載が事実と相違した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑩ 上記出願書類等以外の参考資料(大学・大学院在学時の卒業論文、在籍する企業での研究報告書等)は書類選考の対象とはなりませんので、送付しないでください。

(4) 検定料の支払方法

- ① 検定料 30,000円
*検定料の他に、別途支払手数料が必要です。
*入試成績開示を希望する場合は、1回の出願につき開示請求手数料1,000円が別途必要です。
- ② 支払期間 令和6年7月1日(月)～7月12日(金) *出願期間とは異なります。
ただし、出願は郵送に限り、令和6年7月12日(金)16時必着であることに特に注意して早めに払込んでください。
- ③ 支払方法 コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払い)、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。
- ④ 支払いに際しての留意事項
ア. 銀行窓口での支払いはできません。
イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払いはできません。
ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
エ. 支払手数料は、入学志願者本人の負担です。
- ⑤ 検定料返還に関する留意事項
出願書類等を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込み済みの検定料は返還しません。該当者は、速やかに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当に問い合わせてください。
○検定料を払込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
○検定料を誤って二重に払込んだ場合
※検定料の返還請求の方法
本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、A4サイズで印刷して必要事項をもれなく記入した上で、必ず「**出願確認票(提出用)**」を添付して期限までに下記請求先に提出してください。

掲載先：本学ホームページ

【トップページ>受験生の方へ>入試情報・募集要項>入学検定料返還・免除請求】

https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/exemption/

※必ず該当の様式を使用してください。記入漏れがある場合は受付できませんので注意してください。

返還請求期限 令和7年3月28日（金）17時必着

請求（送付）先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

電話 0776-61-8830

(5) 受験票の印刷

令和6年8月23日（金）9時から、インターネット出願サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、**A4サイズでカラー印刷**してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に間違いがある場合には、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当（連絡先 0776-61-8830）へ連絡してください。

また、受験番号は、入学手続き及び個人成績閲覧（出願時に成績開示を希望した場合のみ、令和7年5月12日から）にも必要です。それまで本学「受験票」は大切に保管してください。成績開示の詳細は、12ページ「13 入学試験の個人成績の開示」を確認してください。

8 入学者選抜方法等

(1) 第1次選考

期 日	時 間	試 験 科 目	試 験 場
8月31日(土)	10:00~12:00	自然科学総合 (生命科学)	福井大学医学部 (松岡キャンパス)

学力試験により判定し、募集人員の約10倍の合格者を選考します。

自然科学総合問題は、医学修得に必要な知識を評価するために、理系大学教養教育修了程度の生命科学を含む自然科学（英語力を問う問題を含む。）から出題します。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し、第1次選考結果と出願書類により判定し、募集人員の約3倍の合格者を選考します。書類選考のため、来学する必要はありません。

(3) 最終選考

期 日	集 合 時 間	試 験 科 目	試 験 場
11月2日(土)	午前 8:30 午後 12:30	面 接	福井大学医学部 (松岡キャンパス)

第2次選考合格者に対して面接を行い、最終合格者を選考します。

集合時間は、午前か午後のどちらかになります。最終選考の詳細については、第2次選考合格者に通知します。

(4) 試験当日等の注意事項

- ① 試験場内の見取図及び受験上の注意等については、試験前日に受験者入口（巻末の試験場案内図を参照）に掲示します。試験場建物内の下見はできません。
- ② 受験者は、受験票を必ず携帯してください。
- ③ 第1次選考試験当日は、9時40分までに試験室に入室してください。
- ④ 第1次選考において、試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻30分以内に限り、受験を認めますので、係員の指示に従ってください。受験が認められた場合でも、試験時間の延長は認めません。ただし、最終選考は、集合時間に遅刻した場合、特別な事情がない限り受験を認めません。
- ⑤ 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。
- ⑥ 試験開始から試験終了時までは、試験場外へ出ることができません。また、試験時間中は退室を認めませんが、体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、挙手をして試験監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室等での受験はできません。一時退室した分の試験時間の延長も認められません。
- ⑦ 試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- ⑧ 試験時間中に監督者が写真票により受験者の確認を行います。なお、マスクを着用している場合は、不正防止のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。
- ⑨ 計時以外の機能を持った時計の使用は認めません。なお、試験室に時計はありません。
- ⑩ 携帯電話、スマートフォン等の通信機器や音の出る機器は、試験場に入る前に必ず電源を切って、教科書・参考書等と一緒にかばん等に入れてください。また、携帯電話やスマートフォン等を時計代わりに使用することはできません。試験監督者からの通信機器等に関する注意や指示に従ってください。指示に従わない場合は、不正行為とみなすことがありますので、留意してください。
- ⑪ 試験当日、自家用車で来た場合には、所定の駐車場（巻末の試験場案内図を参照）に駐車してください。
- ⑫ 試験場内で食事はできません。また、試験場内に利用可能な自動販売機はありません。

不正行為について

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、全ての科目の成績を無効とします。
 - ア 志願票、受験票・写真票等を偽造、虚偽記入、剽窃、その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ること）をすること、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - エ 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - キ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、

グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。)

ケ 試験終了後、監督者の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電気機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

③ 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクやメガネ、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。

また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。

9 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、疾病・負傷や身体障がいのために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和6年6月10日(月)までに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ申し出てください。期限後に不慮の事故等により身体に障がいを有することとなった場合には、速やかに相談してください。

10 合格者発表

(1) 第1次選考合格者発表

令和6年9月20日(金) 10時

福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp>) の「入試情報」に合格者の受験番号を掲載します。**第1次選考については、合格通知書は送付しません**ので、ご注意ください。なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

(2) 第2次選考合格者発表

令和6年10月4日(金) 10時

福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp>) の「入試情報」に合格者の受験番号を掲載

するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

(3) 最終選考合格者発表

令和6年11月22日(金) 10時

福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp>) の「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

11 入学手続

合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付します。入学手続に関するすべての事項は、合格者本人がこの入学手続要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、入学手続期間に所定の入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(1) 入学手続期間・方法

令和6年11月25日(月)～11月29日(金) 最終日16時必着

入学手続書類等は本学所定の封筒に入れ、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ郵送（簡易書留速達）するものとし、入学手続期間内必着とします。

入学手続期間後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので、郵便事情等を考えて早めに送付してください（期間前到着は可、持参提出は不可）。

(2) 入学手続時に要する経費

入学料 282,000 円（予定額）

授業料 前期分 267,900 円（予定額）

注：① 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

② 入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

③ 納入された入学料は返還しません。

12 欠員補充の方法

入学手続完了者が定員に達しない場合は、令和6年12月2日(月)以降に合格者を追加することがあります。この場合、追加合格者には、入学志願票の「現住所」の電話番号に連絡するので、十分留意してください。追加合格に係る入学手続は、該当者に直接指示します。

13 入学試験の個人成績の開示

出願時に成績開示を希望した者は、本学 Web サイトの「個人成績開示システム」から令和7年度入試（学士編入学）の個人成績が閲覧できます。

「個人成績開示システム」 <https://exam-entry.52school.com/u-fukui/disclosure>

【トップページ>受験生の方へ>入試データ>入学試験の個人成績開示】



(1) 請求方法

① 成績開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際に、試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。後から変更はできません。出願後のメール、電話等に

よる個別の開示請求は一切受け付けませんので注意してください。

- ② 「希望する」を選択した場合、1 回の出願につき開示請求手数料 1,000 円が別途必要です。検定料と併せて支払ってください。

※出願受理後の開示請求手数料の返還は行いません。

(2) 開示内容

第 1 次選考（学力試験）の総得点及び順位

※第 1 次選考（学力試験）の問題毎の得点や第 2 次選考、最終選考の得点及び順位等は開示しません。

(3) 開示の時期

令和 7 年 5 月 12 日（月）から 6 月 30 日（月）まで閲覧可能です。

※閲覧するには、「受験番号」、インターネット出願登録時の「セキュリティコード」が必要です。開示時期は出願からかなり期間が空くので、受験番号及び整理番号の管理には注意してください。

万が一、「セキュリティコード」がわからなくなった場合には、出願時に登録したメールアドレス宛に通知を受けることができます。必ず開示時期まで変更しないメールアドレスを登録してください。

14 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備（学籍管理、履修準備含む）、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- (1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- (2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）
- (3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る）を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に情報提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

電話 0776-61-8830

Ⅱ. 入学案内

福井大学医学部は、九頭竜川河畔の広大な敷地に最新の施設と設備を整え、医学及び看護学の教育・研究・診療において、特色のある新しい大学を建設していこうという意欲に満ちた学部です。志望する学問に対して強い憧憬を懐き、その勉学に情熱を持ち、また、本学の新しい学風づくりに努力を惜しまないような入学者を期待しています。

1 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学部医学科では、大学の理念及び医学部の理念・教育目的・人材育成目標に基づき、卒業時に達成する学修成果を「アウトカム」として掲げ、それらを達成するのに必要な能力を「コンピテンシー」として設定しています。コンピテンシーを修得するために必要な体系的な教育課程の編成、教育・学修方法の導入を行い、学修成果の評価を実施します。

具体的な方針は以下①～③のとおりです。

① 教育課程の編成の方針

1. 本邦における医学教育の指針である「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に準拠します。
2. 医療人として適切な倫理観、共感力、コミュニケーション能力、生涯学修への意欲などのメディカル・プロフェッショナリズムを涵養するカリキュラムを編成します。
3. 本学の共通・教養教育の理念に基づき、医療人としてふさわしい良識・教養を養うための共通教育科目を編成します。
4. 地域医療及び医療の国際化に貢献するための基本を修得するカリキュラムを編成します。

② 教育課程における教育・学修方法に関する方針

5. 自学・自修の機会を十分に取り入れたカリキュラムにより、学生の能動的学修を促します。
6. 統合型科目により、基礎医学および臨床医学を関連付けた学修を促します。
7. 基礎医学の現場を体験する医科学研究研修の機会を設け、研究マインドを涵養します。
8. 診療参加型実習（クリニカルクラークシップ）により、担当患者の診察・臨床推論・診療記録等の実践的能力、チーム医療の能力を育成します。

③ 学修成果の評価の方針

9. 各科目は、予め定められた評価方法に基づき、厳格に成績評価を行います。
10. 各アウトカム、コンピテンシーの達成度、および各学年までに身につけた知識や技能の総合的評価は「医学科アウトカム・コンピテンシー・評価対応表により行います。
11. 本学の医学教育をより良いものとしていくため、医学教育分野別評価基準等に基づいて、カリキュラムの評価と検証を行い、継続的に改善します。その評価・検証体制は「アセスメント・ポリシー」に示しています。

2 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

医学部医学科では、大学の理念及び医学部の理念・教育目的・人材育成目標に基づき、医学科生が卒業時に達成すべき学修成果を「アウトカム」（3項目）として掲げ、それらを達成するために6年間で修得すべき能力を「コンピテンシー」（大領域8項目、小領域36項目）として設定しています。

所定の期間在学し、カリキュラム・ポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規定で定められた卒業に必要な単位・時間数を修得し、知識・技能・態度の評価において、コンピテンシーで定められた能力を修得しアウトカムを達成したと認めたものに学位を授与します。

アウトカム

1. 医療人としての態度

生命尊重を第一義とする倫理観・責任感と、良識ある人間性を有し、医療チームの構成員として、共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を実践できる。

2. 医療人としての知識・技能

医療における高度専門職業人として、医学及び関連領域の知識と技能を応用して、科学的根拠に基づいた適切な医療活動を実践できるとともに、日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修することができる。

3. 医療人としての地域性・国際性

地域（とくに福井県）の社会的ニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。

コンピテンシー

(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム

生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。

(2) 人間性の形成とコミュニケーション

人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。

(3) チーム医療

医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。

(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学習

医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。

(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全

医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。

(6)科学的思考

科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。

(7)医療の社会性と地域医療・国際的視点

医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。

(8)福井医療力

福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。

各アウトカム達成に必要な能力をコンピテンシー大領域として定め、各大領域のもとにさらに具体的な能力としてコンピテンシー小領域を設定しています。

コンピテンシー小領域、アウトカムとコンピテンシーの対応は、別表「医学科アウトカム・コンピテンシー対応表」に示します。

(別表) 医学科アウトカム・コンピテンシー対応表

アウトカム1 医療人としての態度		
生命尊重を第一義とする倫理観・責任感と、良識ある人間性を有し、医療チームの構成員として、共感力とコミュニケーション力を備えた患者中心の医療を実践できる。		
コンピテンシー(1) 医の倫理とプロフェッショナリズム		
生命尊重を第一義とする倫理観を持ち、医療における高度専門職業人としての責任感・価値観を有し、礼節ある態度・良識と、自己の心身管理能力をもって行動できる。		
①	使命感	確立した使命感を持ち、責任感を持って行動できる。
②	倫理観	医療における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。
③	医療法制	医療法制を理解し、医療における法的責任・規範を遵守できる。
④	礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。
⑤	自己管理	自己の時間、健康、衛生等を管理できる。
⑥	多様性	患者とその関係者の心理・社会的背景を理解し、多様性を受け入れることができる。
コンピテンシー(2) 人間性の形成とコミュニケーション		
人間性の基盤となる教養的知識を有し、患者中心医療のための共感と尊重に基づく人間関係構築と適切なコミュニケーションを実践することができる。		
①	一般教養	人間や社会、科学に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。
②	共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感することができる。
③	コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、患者とその関係者と信頼関係を築き、協力が得られるコミュニケーションを実践できる。
④	プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自身の意見を明確にプレゼンテーションでき、質問に的確に応えることができる。
コンピテンシー(3) チーム医療		
医療に関わる人々の役割を認識・理解し、医療チームの構成員として、医師同士・多職種者と協力・連携することができる。		
①	チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。
②	多職種連携実践	医療チームに関わる各職種の役割を認識・理解し、互いに尊重して適切にチーム医療を実践することができる。
アウトカム2 医療人としての知識・技能		
医療における高度専門職業人として、医学及び関連領域の知識と技能を応用して、科学的根拠に基づいた適切な医療活動を実践できるとともに、日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修することができる。		
コンピテンシー(4) 医学及び関連領域の知識と問題解決能力・生涯学修		
医学の基盤となる基礎・臨床・社会医学等の知識を持ち、疾患の病因・病態等の理解に応用できる。そのために、自ら学ぶ意欲を持ち、問題を解決し、生涯に渡って学修する能力を有する。		
①	基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、基礎・臨床・社会医学の理解に応用できる。
②	基礎医学・社会医学	基礎医学・社会医学の基本原則を理解し、知識を修得、臨床医学の理解に応用できる。
③	臨床医学	主要な疾患について、疫学・病因・病理・病態・症候・予後を説明できる。
④		主要な疾患について、治療法を説明できる。

⑤	自己学修・問題解決	自ら知識や情報を修得し、それをもとに問題の抽出、思考、解決ができる。
⑥	生涯学修	日々進歩する医学的知識・技能を、生涯に渡って学修する能力を有する。

コンピテンシー(5) 診療の実践と患者ケア・医療安全

医学知識に基づいた基本的臨床手技を用いて、患者に敬意を示しつつ、苦痛や不安感に配慮した効果的かつ安全な診療を、指導医の指導・監督のもとで実施できる。

①	病態聴取	患者の主要な病歴を正確に聴取できる。
②	身体診察・基本的臨床手技	身体診察と基本的臨床手技を適切に実践できる。
③	検査	主要な疾患の診断に必要な検査計画を立て、得られた結果を解釈できる。
④	診断	主要な疾患の病態を把握し、診断を確定することができる。
⑤	治療計画	患者の診断・病態に基づいた適切な治療計画を立てることができる。
⑥	医療文書・医療プレゼンテーション	診療録など医療文書を適切に作成し、プレゼンテーションできる。
⑦	説明と同意	患者に検査や治療について説明でき、同意を適切にとることができる。
⑧	医療安全	医療安全の知識を持ち、患者及び医療者の安全を優先した医療を実践できる。

コンピテンシー(6) 科学的思考

科学的根拠に基づいた医療実践のため、医学における科学研究の意義を理解し、情報の収集と評価のための論理的・批判的思考ができる。

①	科学研究	科学研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。
②	科学的探究心	医療における問題解決のための科学的な探究心を持つ。
③	医学英語力	科学的知識、医学知識を論文等から修得できる英語力を持つ。

アウトカム3 医療人としての地域性・国際性

地域（とくに福井県）の社会的ニーズを踏まえた地域医療を実践できるとともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。

コンピテンシー(7) 医療の社会性と地域医療・国際的視点

医師の社会的役割を理解し、保健・医療・福祉の資源活用による疾病予防と健康増進、地域事情に即した医療への貢献とともに、グローバルな視点に立って医療の国際化に貢献できる。

①	予防・健康	保険・医療・福祉に関わる施設・職とその役割を理解し、それらと連携することで、疾病予防・健康増進に貢献できる。
②	地域医療	地域社会のニーズに対応した医療が実践できる。
③	国際的視点	異文化・異社会を理解できる国際的な感性と言語力を有し、グローバルな視点で医療活動ができる。

コンピテンシー(8) 福井医療力

福井県の社会的ニーズを踏まえて、救急医療や緊急被ばく時に対応可能な医療を実践できる。また、福井大学医学士として、後輩等への教育・指導ができる。

①	福井医療事情	福井県の医療事情を把握し、説明できる。
②	救急医療	救急医療に対応可能な総合医として実践できる。
③	緊急被ばく医療	緊急被ばく時に医療対応ができる。
④	教育力・指導力	後輩等に医学の知識・技能・態度に渡る教育・指導ができる。

3 共用試験 (CBT^{※1}・OSCE^{※2}・Post-CC OSCE^{※3})

共用試験実施評価機構が全国の医学科生を対象に実施する試験です。受験料が必要となります。

CBT^{※1}：コンピューターで知識の理解度を問う試験。4年次に実施。

OSCE^{※2}：態度・基本的臨床技能を医療面接・身体診察により問う試験。4年次に実施。

Post-CC OSCE^{※3}：「診療参加型臨床実習」を終えた学生を対象に、臨床研修開始時に必要な能力を有しているかを評価する試験。6年次に実施。

※1 CBT =Computer Based Testing 知識・問題解決能力の客観的評価試験

※2 OSCE=Objective Structured Clinical Examination 客観的臨床能力試験

※3 Post-CC OSCE=Post -Clinical Clerkship OSCE 臨床実習後客観的臨床能力試験

4 取得可能資格等

学士編入学の課程を卒業すると学士（医学）の学位が授与されるとともに、医師国家試験受験資格を得ることができます。

5 初期臨床研修

医師国家試験の合格者は、医師免許を取得した後、2年間の初期臨床研修が必要となります。

6 入学料及び授業料徴収猶予

経済的理由により入学料等の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上、入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等でお知らせします。

7 奨学金制度

大学・大学院に在籍する学生で、人物・学業ともに優秀であり、経済的理由により修学が困難であると認められる者に対しては、次の奨学金の貸与制度があります。

(1) 独立行政法人日本学生支援機構奨学金

区 分	貸 与 月 額
第一種奨学金（無利子）	【自宅月額（自宅通学者）】 ・最高月額 45,000円 ・最高月額以外 20,000円又は30,000円 【自宅外月額（自宅外通学者）】 ・最高月額 51,000円 ・最高月額以外 20,000円、30,000円 又は40,000円
第二種奨学金（有利子）	20,000円～120,000円（10,000円単位）から 選択

貸与の基準や金額等については変更される場合がありますので、奨学金の利用を予定している年度の開始前（3月初旬以降）に、日本学生支援機構のホームページ（<https://www.jasso.go.jp/>）に

て改めて確認してください。

(2) 大学独自奨学金

日本学生支援機構給付型奨学金申請の対象外となる学生を支援する制度です。

◆福井大学学生修学支援奨学金

福井大学基金及び福井大学運営費による給付型奨学金制度です。

経済的困窮度の高い者から選考します。募集は秋頃です。

◆福井大学生協奨学金

福井大学生生活協同組合からの寄附金による給付型奨学金制度です。

経済的困窮度の高い者から選考します。募集は秋頃です。

◆福井大学医学部基金学生支援奨学金

福井大学医学部基金による給付型奨学金制度です。

経済的支援を目的としています。募集は秋頃です。

(3) その他の奨学金

地方公共団体及び各種団体による奨学金制度もあります。

8 保険制度

(1) 傷害保険

教育研究活動（正課，学校主催行事，課外活動）・通学中の災害事故に対する保険制度で，教育研究活動・通学中に生じた不慮の災害事故によって，身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。本学では，学生全員が加入することとしています。

(2) 賠償責任保険

傷害保険のほかに，日常生活（24時間補償）での負傷はもとより，他人に対する賠償責任や臨床実習中における偶発的な事故等（針刺し事故等），万一の時に備えるものです。本学では，賠償責任保険に加入していない者は臨床実習を認めません。

9 アパート等の紹介

希望する学生にはアパート等の紹介を行っています。詳細は，福井大学生生活協同組合（電話 0776-21-2956）にお問い合わせください。

なお，本学松岡キャンパス（医学部）には学生寮はありません。文京キャンパスには国際交流学生宿舎があり，主に教育学部・工学部・国際地域学部の学生が利用していますが，松岡キャンパスの学生も利用できます。詳細は本学学務部学生サービス課（電話 0776-27-8403）にお問い合わせください。

福井大学位置図



両キャンパスを結ぶ連絡バスで移動できます。(約30分)



■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄道 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バス 福井駅(約10分)→福井大学前下車 [福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅→福大前西福井駅下車 [福井駅東口から出て三国芦原線で約10分] *西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅(約10分)→福井大学文京下車 [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km 福井ICから国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バス 福井駅(約35分)→福井大学病院前下車 [福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅→松岡下車 バスに乗り換え約5分 [福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス] *西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅(約30分)→福井大学松岡下車 [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km *標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

- 大阪・京都方面から**
- 電車 大阪・京都→湖西線経由→福井 (特急・新幹線で、京都から約1時間15分、大阪から約1時間45分)
 - 自動車 大阪・京都→<名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC (京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
 - 高速バス 大阪・京都→<名神・北陸>→福井 (京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

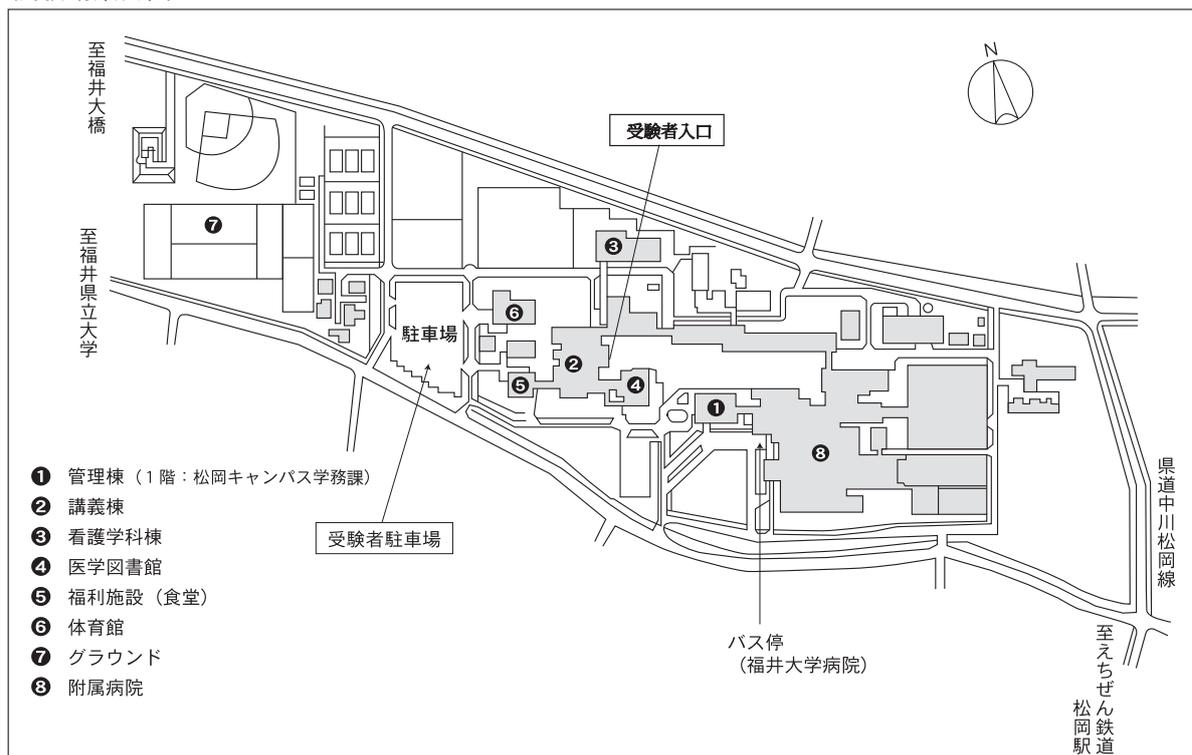
- 名古屋・静岡方面から**
- 電車 名古屋・静岡→米原経由→福井 (名古屋から新幹線・特急で約1時間30分)
 - 自動車 名古屋→<名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC (約2時間)
 - 高速バス 名古屋→<名神・北陸>→福井 (約2時間50分)

- 東京方面から**
- 飛行機 東京羽田→小松空港(1時間)→福井(連絡バス1時間)
 - 電車 東京→米原経由→福井(新幹線・特急約3時間30分) 東京→金沢経由→福井(新幹線約2時間50分)(直通)
 - 自動車 東京→<東名・名神>→米原JCT→<北陸>→福井・福井北JCT・IC (約6時間30分) *高速バスもあります。

- 金沢・新潟方面から**
- 電車 金沢・新潟→福井(金沢から新幹線で約20分)
 - 自動車 金沢→<北陸>→丸岡→福井北JCT・IC(約1時間)



試験場案内図



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部 松岡キャンパス学務課入試担当

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

電話 0776-61-8830

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
 - ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
- 【福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>】
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。